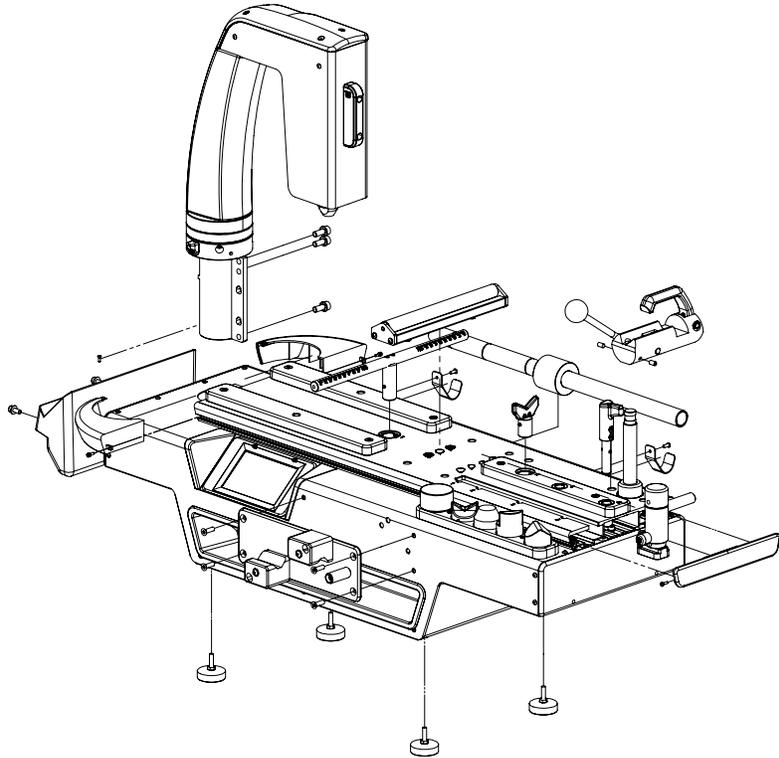


Wilson®



BAIARDO TUNE PRO

取扱説明書



WILSON BAIARDO TUNE PRO をご購入いただき誠にありがとうございます。

ラケット診断用の画期的な装置である Baiardo Tune Pro は、世界中のラケットチューナーのための最先端技術、クリーンなデザイン、最高の効率性を導入しています。重要な特長は以下のとおりです。

- テニス、バドミントン、スカッシュ、ラケットボール、パデル、ピククルボール、プラットフォームの7つのラケットスポーツにおける、ラケットの重量、バランス、スイングウェイト、シャフトの曲がり、ストリングベッドの剛性、フェースのたわみ、横方向の曲がり、縦方向の曲がりの測定
- 重量とバランスを同時に測定
- 縦方向の曲がりを測定できる初めての装置
- 予測ソフトウェアを使用することにより、ラケットをカスタマイズする際の曖昧な推測を回避
- 精度と再現性を確保するためのラケット調整が容易
- 最大6つのラケットプロファイルが保存可能

本取扱説明書は、Baiardo Tune Pro 装置の組み立てと使用に関する基本的な情報を提供するものです。

詳細情報については、www.wilson.com/baiardo よりご確認ください。

よろしくお願ひ致します。
Baiardo 開発チーム

BAIARDO TUNE PRO

警告と注意事項	4	テストの設定	15
装置の組み立て	4	重量とバランス	16
部品の説明	5	スイングウェイトテスト	17
起動	6	ストリングベッドの剛性	18
装置の電源を入れる	6	横方向の曲がりテスト	19
ユーザーインターフェース	6	縦方向の曲がりテスト	20
言語の変更	7	バドミントンシャフトの曲がりテスト	21
診断の開始	7	ピックルボールフェースのたわみ	22
基本的な操作上の注意事項	8	テストの解釈	23
パスワード	8	テストの保存	23
新しいパスワードの選択	8	チューニングモード	24
基本機能	9	チューニングモードとは？	24
アクチュエータヘッド	9	チューニングモードの設定	24
アクチュエータチップ	9	ライブチューニングモードの使用	25
ロードセル	10	計算モードの使用	26
支持バー	10	調整	27
ハンドル固定具	11	重量とバランス	27
ハンドルアライメントカム	12	調整：スイングウェイト	28
スイングウェイトクランプ	12	異なる単位にスイングウェイトを調整	28
縦方向の曲がり測定用固定具	13	調整：RA	29
ピックルボールフェースのたわみ測定用固定具	13	保守、メンテナンス、トラブルシューティング	30
バドミントンシャフトの曲がり測定用固定具	13	保証情報	31
装置の操作	14	保証範囲	31
共通のタッチスクリーンプロセス	14	保証サービスと部品の入手	31
スポーツの選択	15	BAIARDO TUNE PRO の仕様	32

警告と注意事項



これらの指示は保管してください。装置を使用する前に、すべての指示をお読みください。

屋内での使用が推奨されます。

推奨される動作温度は 10 ~ 40 °C、50 ~ 104 °F です。

感電のリスクを減らすため、いかなる液体をも近づけないでください。

安全カバーがない、または外れている場合は絶対に使用しないでください。可動部品が露出していると、重大な傷害を引き起こす可能性があります。

本装置は、外部電源などの 24Vdc SELV 電源によってのみ電力供給できます。

延長コードを注意深く選択し、定期的に点検する必要があります。修理よりも交換を検討してください。

Wilson は、不適切な取り付け、整備不良、許可されていない改造、または不適正使用によって生じた損害（直接または間接的）に対して一切責任を負いません。電気設備の事故、火災、安全性に関する安全基準への準拠を怠った場合にも、弊社では一切責任を負いません。

本装置は、身体的、感覚的、精神的な能力が低下している人（子供を含む）、または経験や知識が不足している人が、その安全に責任を負う人によって装置の使用に関する監督や指示を受けていない場合に、使用されることを意図していません。

子供が本製品で遊ばないように監視してください。

装置のクリーニングや部品の保守を行う前に、必ず装置の電源を切るようにしてください。電力ケーブルを電源コンセントから抜いてください。水、ホース、高圧洗浄装置を使用して洗わないでください。

装置のクリーニングおよびメンテナンスは子供が行わないようにしてください。

クリーニングおよびメンテナンスについては、必ず www.wilson.com/baiardo にある詳細のとおりに行ってください。

装置の組み立て

装置の組み立ては、付属のセットアップガイドに記載されているすべてのステップを順番どおりに行います。

新しいセットアップガイドの入手、または紛失した場合は、www.wilson.com/baiardo にアクセスして表示するか、コピーをダウンロードしてください。

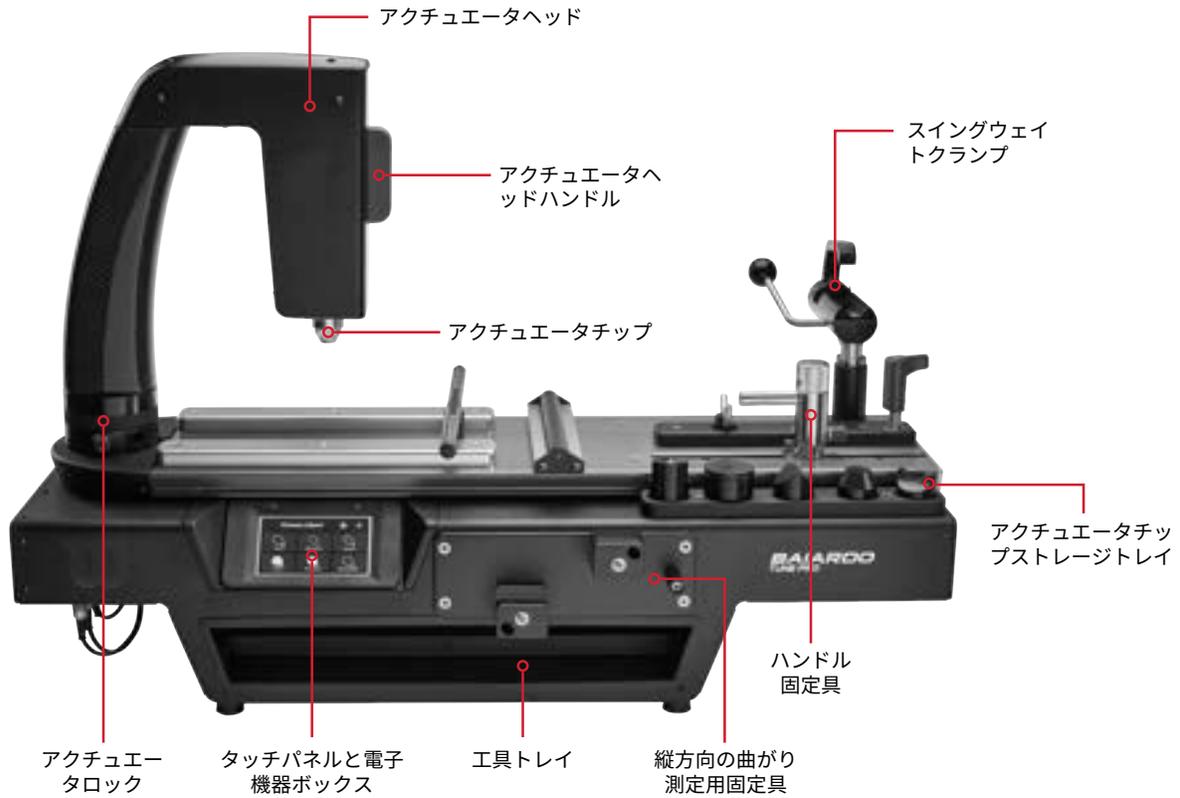
すべての部品は次ページに掲載されています。部品に不足がある場合は、直ちに Wilson の担当者までご連絡ください。組み立てに必要なほとんどの工具は同梱されています。付属の工具以外には、Phillips #2 ドライバーが必要になります。

一部のステップでは 2 人での作業が必要になります。

組み立てのすべてが完了するまで、細心の注意を払ってください。

使用前に装置が水平になっていることを確認します。

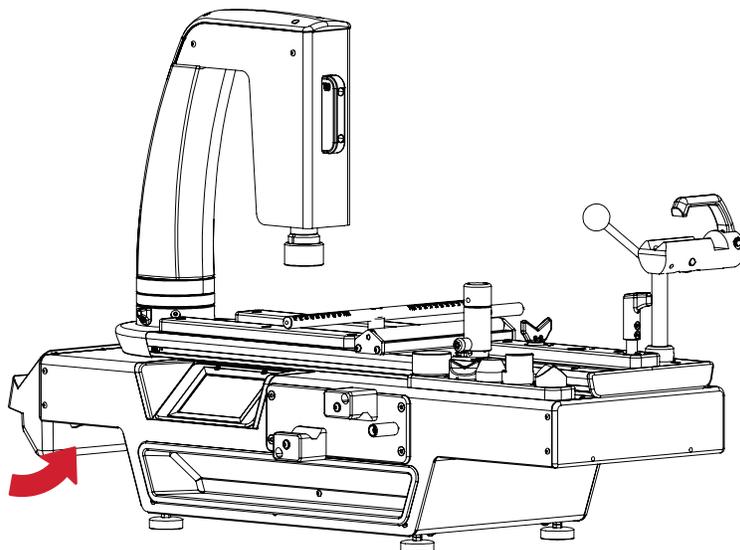
部品の説明



起動

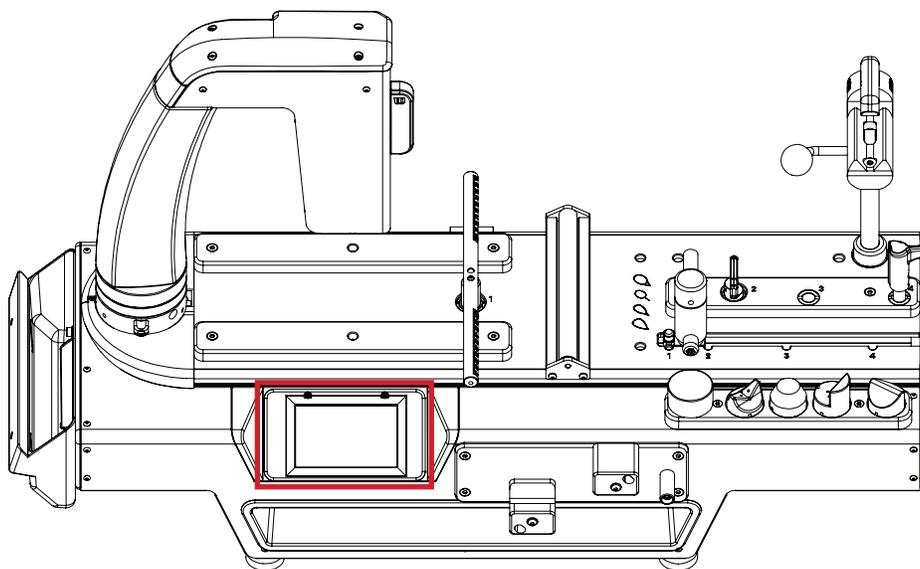
装置の電源を入れる

赤色の電源スイッチは装置下部の左側にあります。



ユーザーインターフェース

Baiardo Tune Pro の操作はタッチスクリーンのみで行います。



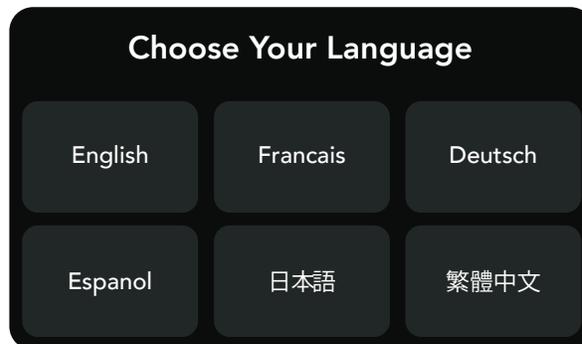
言語の変更

本装置は複数の異なる言語で操作できます。言語は起動時にのみ変更できます。

起動画面の地球のアイコンをタッチすると、言語を変更できます。



地球のアイコンをタッチします



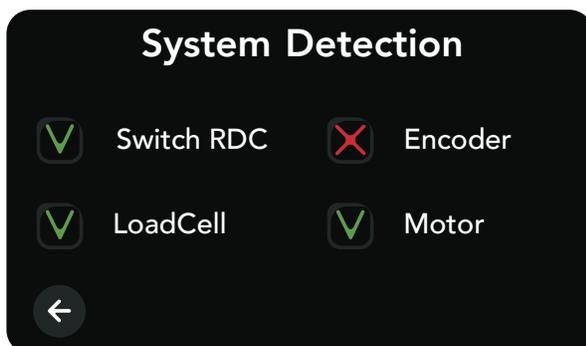
希望する言語をタッチします

診断の開始

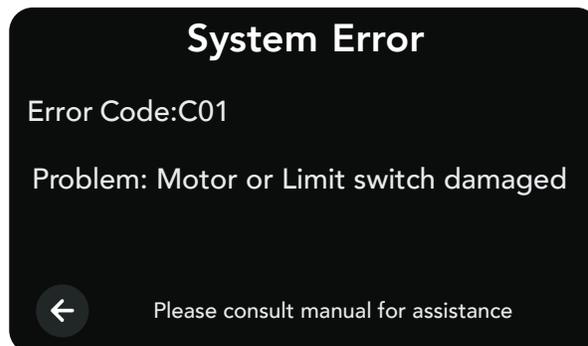
本装置は起動時に診断を完了します。

問題が見つかったら、エラーコードが表示されます。

エラーは www.wilson.com/baiardo に掲載されます。



システムチェックに失敗した例



エラーコード画面の例

基本的な操作上の注意事項

すべてのケーブルが装置の下部に接続されていることを確認します。

装置やロードセルに寄りかからないでください。

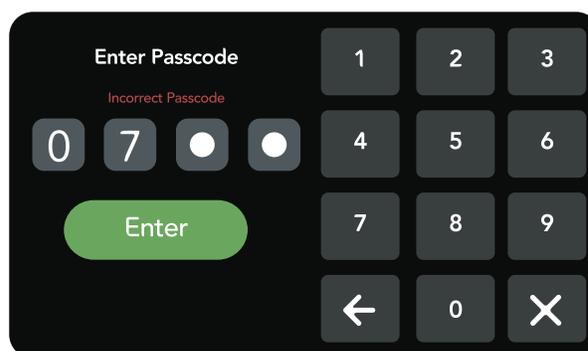
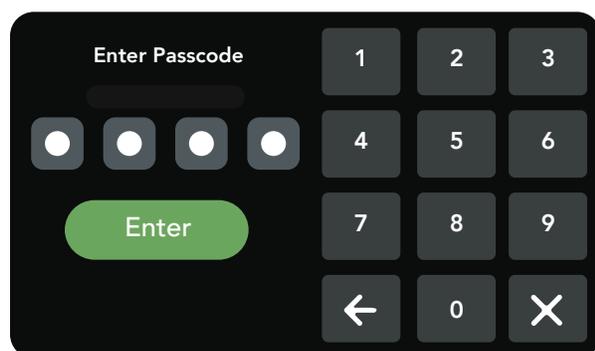
極端な温度下に装置を置かないでください。その場合、装置の温度を室温に近づけるよう配慮してください。10 ~ 32 °C (50 ~ 90 °F) の温度範囲内に装置を置くことを推奨します。

アクチュエータヘッドから装置を持ち上げないでください。

パスコード

デフォルトのパスコードは「0-0-0-0」です

パスコードを紛失した場合は、マスターパスコード「7-3-5-6」を使用してください。



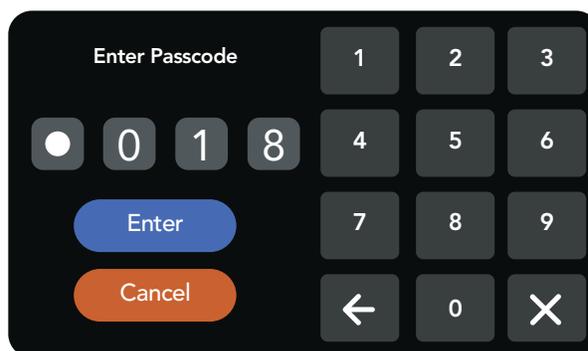
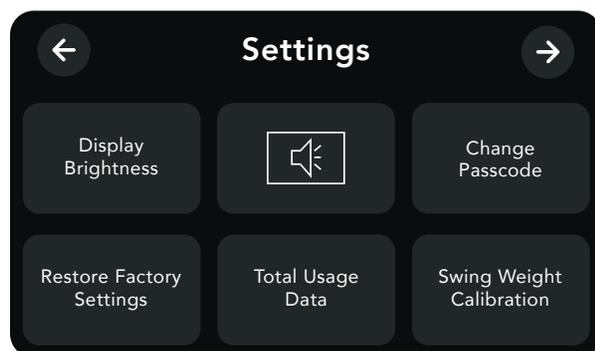
誤ったパスコードが入力された例

新しいパスコードの選択

ホーム画面から“Settings (設定)”を選択します

“Change Passcode (パスコードの変更)”を選択します

4桁のパスコードを入力します



基本機能

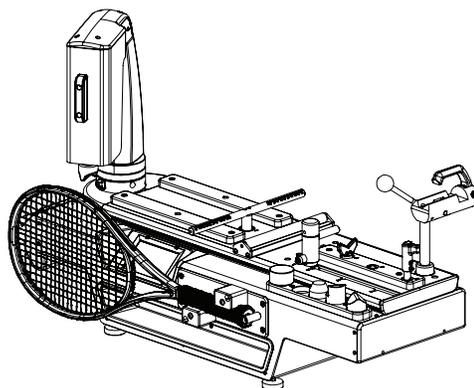
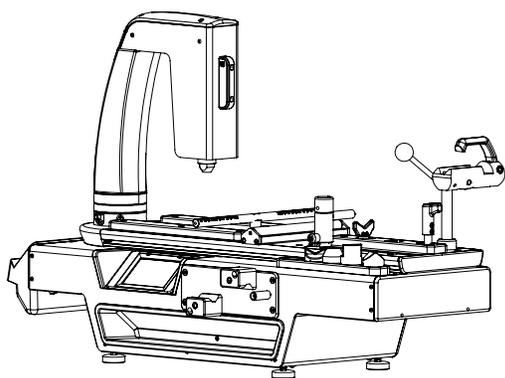
アクチュエータヘッド

交換可能な5つのチップが装備されています。

テニス、バドミントン、スカッシュ、パデル、ピククルボール、ラケットボール、およびプラットフォームの用具を測定します。

アクチュエータチップは上下に調整できます。アクチュエータヘッドを横方向に回転させて、縦方向の曲がり进行测试することができます。

アクチュエータヘッドやハンドルから装置を持ち上げないでください。



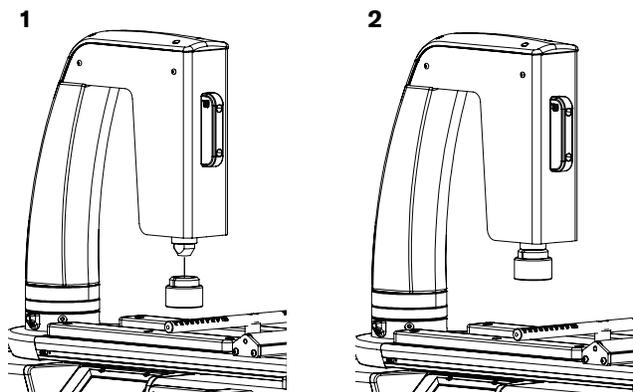
縦方向の曲がりテストのためにアクチュエータを回転させた例

アクチュエータチップ

アクチュエータチップはすべて同梱されています。

チップの交換

1. アクチュエータに取り付けられているチップをつかみ、引き下げます。
2. テストタイプに応じて、適切なアクチュエータチップに交換します。



	ストリングベッドとフェースたわみ測定用チップ：テニス、バドミントン、スカッシュ、ラケットボール、パデル、プラットフォーム
	ピククルボールフェースのたわみ測定用チップ：ピククルボール
	横方向の曲がり測定用チップ：テニス、スカッシュ、ラケットボール、パデル、プラットフォーム、ピククルボール
	縦方向の曲がり測定用チップ：テニス
	シャフトの曲がり測定用チップ：バドミントン

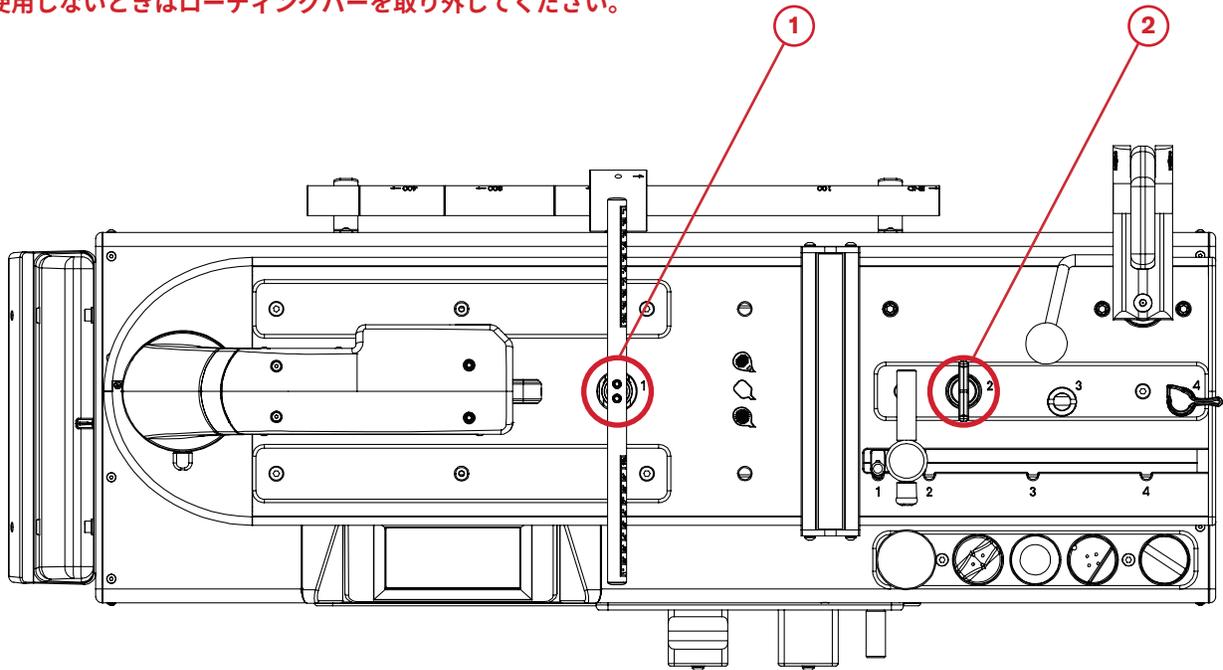
ロードセル

装置には、ラケットの重量とバランス測定する2つのロードセルが装備されています。

ロードセル固定具は両方とも取り外し可能です。

ロードセルに寄りかかったり、上に物を置いたりしないでください。

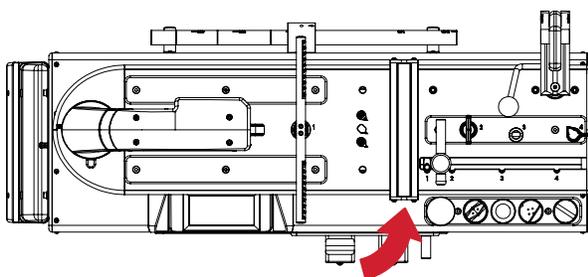
使用しないときはローディングバーを取り外してください。



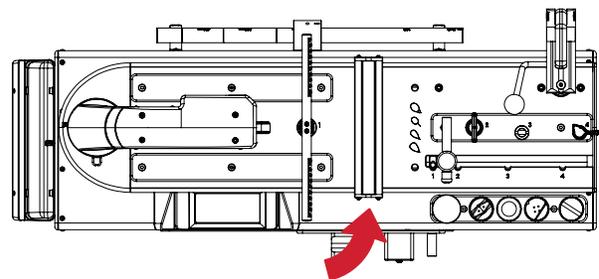
支持バー

装置には、横方向の曲がりテストに使用する支持バーが装備されています。

支持バーは取り外し可能で、配置は2通りあります。



テニス、ラケットボール、バドミントン、およびスカッシュ用に配置した支持バー



パデル、ピックルボール、およびプラットフォームテニス用に配置した支持バー

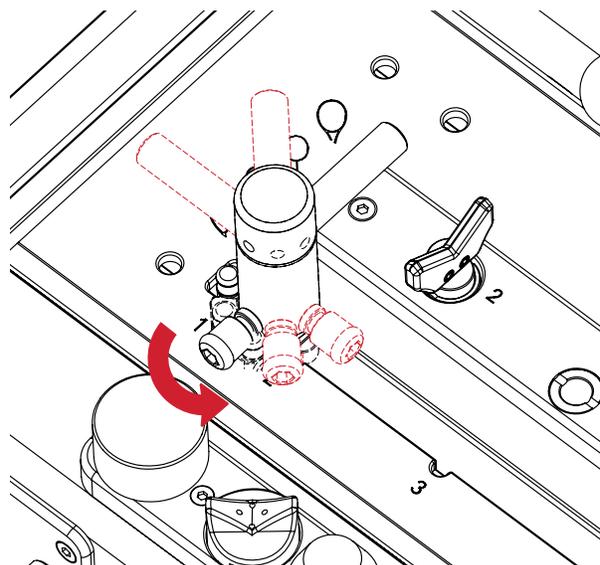
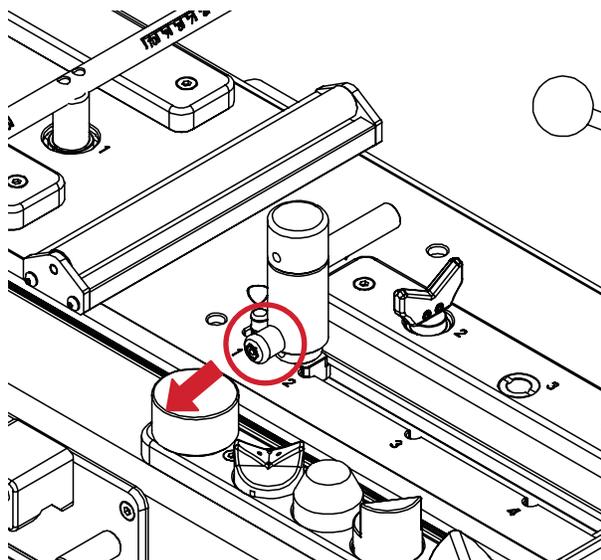
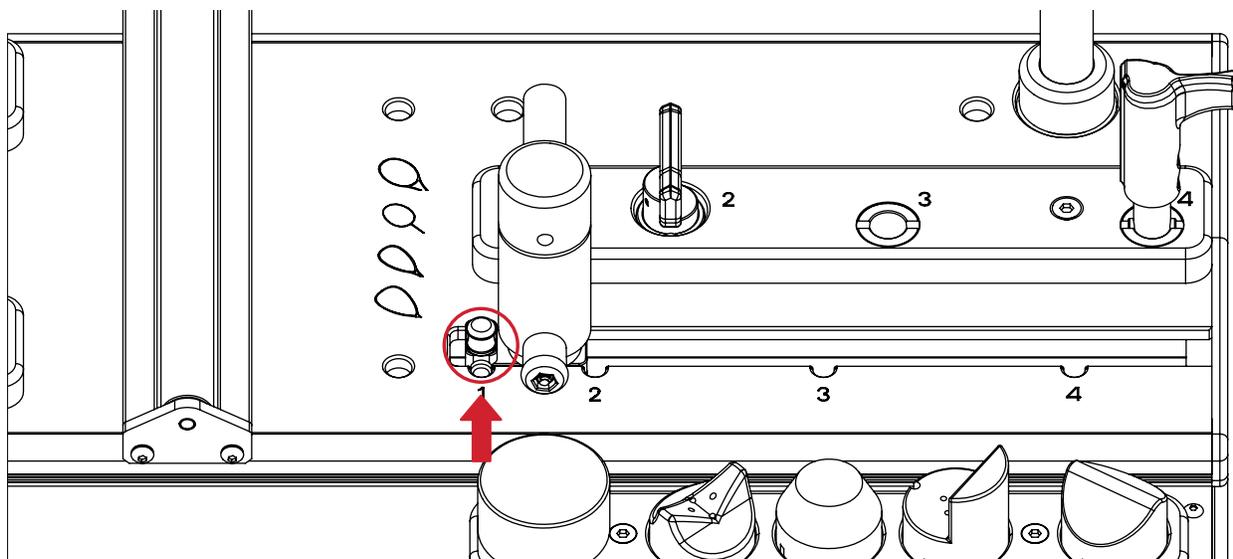
ハンドル固定具

装置には、横方向の曲がりテストに使用するハンドル固定具が装備されています。

ハンドル固定具は、使用するラケットに応じて異なる位置に動かす必要があります。スライドさせるには、赤色の小さなピンを押し込み、ガイドレールまでハンドル固定具を押し下げます。次の位置に入ると、ピンはロックされます。

- 位置1：ピククルボール
- 位置2：パデル、プラットフォームテニス
- 位置3：ラケットボール
- 位置4：テニス、スカッシュ、バドミントン

ハンドル固定具は、赤色の大きなノブを引き戻して回すことで、邪魔にならないようにします。



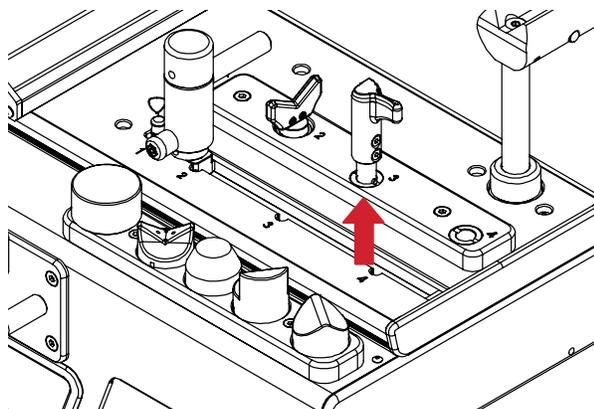
ハンドルアライメントカム

装置には、重量とバランステスト用のアライメントカムが装備されています。

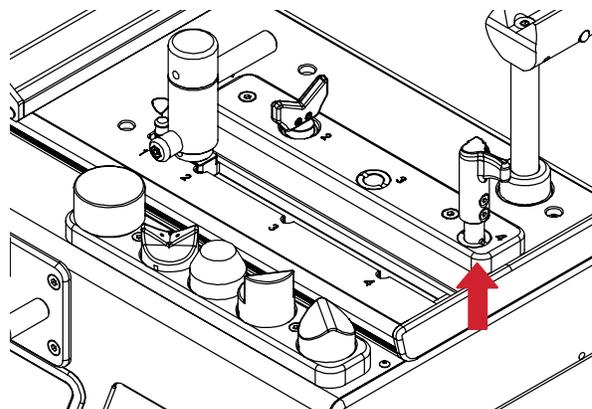
カムは、各テストでラケットの正確な位置合わせを確保します。

アライメントカムは取り外し可能で、配置は2通りあります。

- 位置3：パデル、ピクセルボール、プラットフォーム、ラケットボール
- 位置4：テニス、スカッシュ、バドミントン



位置3のアライメントカム

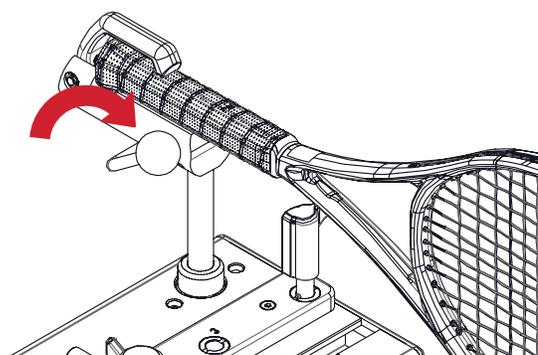
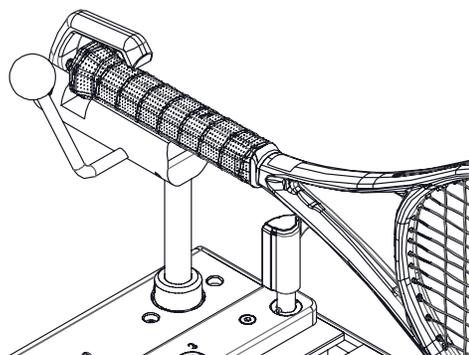


位置4のアライメントカム

スイングウェイトクランプ

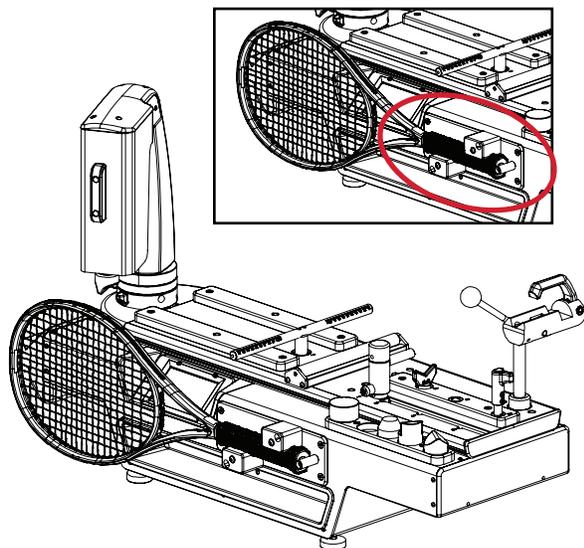
装置には、スイングウェイトを測定するためのラケットやパドルハンドルを固定するスイングウェイトクランプが装備されています。

レバーを前方に回転させると、クランプはロックされます。使用前に、クランプのバブルレベルを確認して、装置が適切に水平になっていることを確認します。



縦方向の曲がり測定用固定具

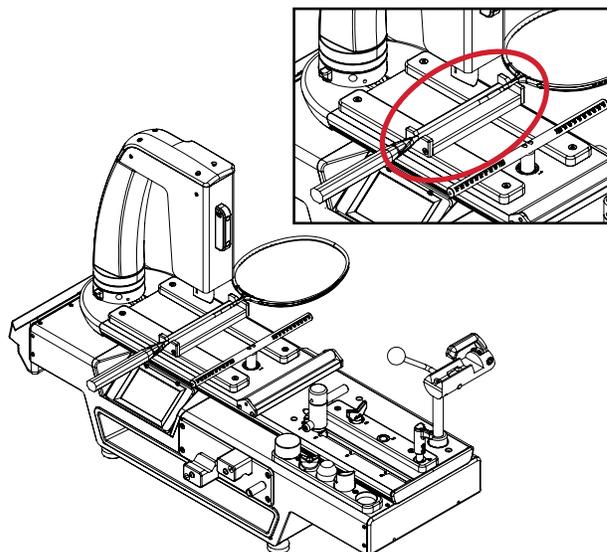
装置には、縦方向の曲がりテストを行うためにテニスラケットのハンドルを所定の位置に固定する固定具が装備されています。



バドミントンシャフトの曲がり測定用固定具

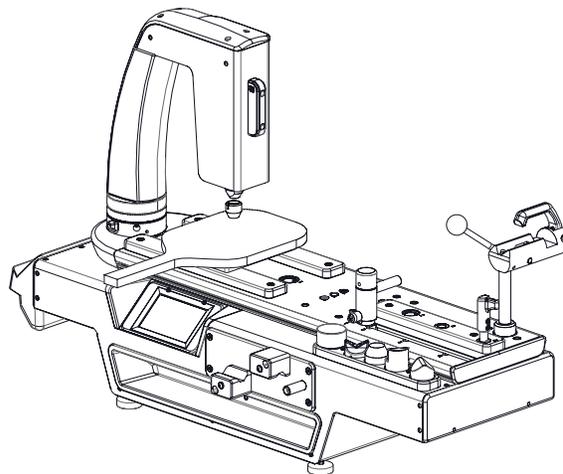
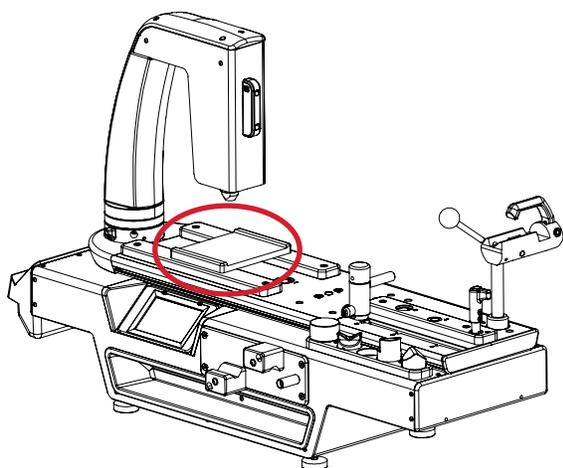
装置には、シャフトの曲がり測定を行うためにバドミントンラケットのシャフトを固定する固定具が装備されています。

バドミントンラケットのシャフトをVブロックに合わせます。



ピックルボールフェースのたわみ測定用固定具

装置には、USA Pickleball の規格に基づいたフェースのたわみを測定するためにピックルボールパドルのフェースを固定する固定具が装備されています。



装置の操作

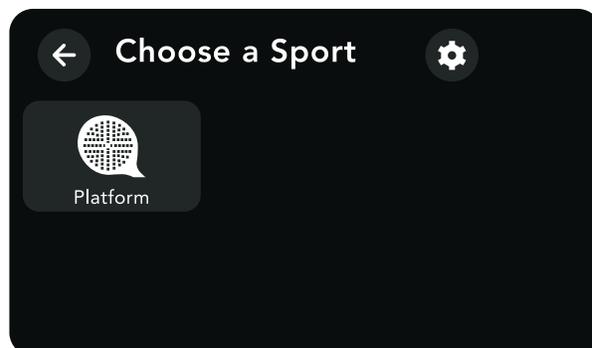
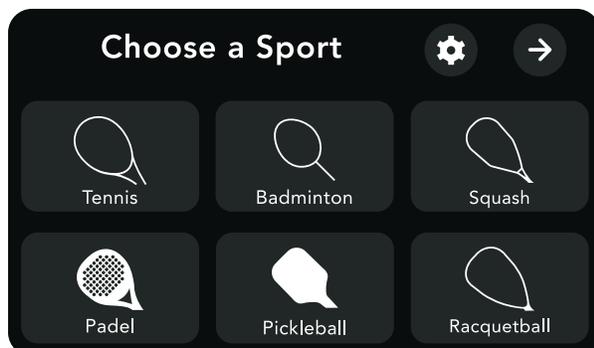
共通のタッチスクリーンプロセス

	タッチして、前画面に戻ります		タッチして、テストのセットアップガイドを表示します
	タッチして、Settings (設定) 画面を表示します		タッチして、テストデータを保存します
	タッチして、“Choose Sport (スポーツの選択)” 画面に戻ります		タッチして、テストデータを消去します
	タッチして、Test History (テスト履歴) 画面を表示します		タッチして、テストデータをゼロにします
	タッチして、英単位とメトリック単位を切り替えます		タッチして、Test Start (テスト開始) 画面に戻ります
	“ENTER (エンター)” をタッチして、選択を確定します		
	“START (開始)” をタッチして、テストを開始します		
	“SAVE (保存)” をタッチして、結果をアーカイブします		
	“TUNING MODE (チューニングモード)” をタッチして、チューニングモードに入ります		
	“STOP (停止)” または画面上の任意の場所をタッチして、直ちにテストを中止します		

スポーツの選択

スポーツの選択を促されます。

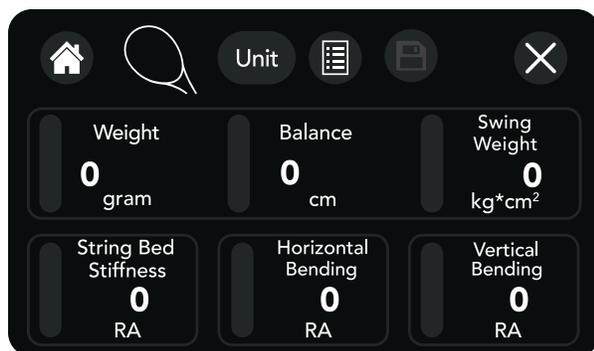
テストする製品に応じたアイコンをタッチします。



テストの設定

テストの選択を促されます。

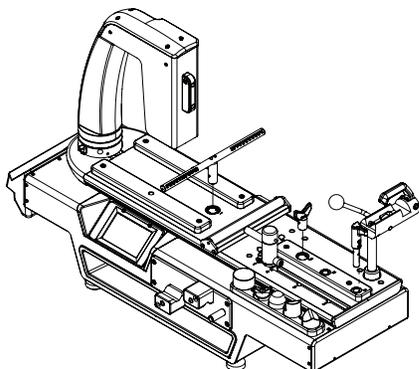
希望するテストに応じたアイコンをタッチします。



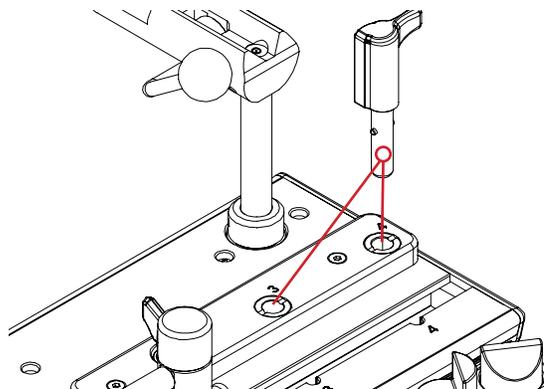
ブランクテスト選択画面の例

重量とバランス

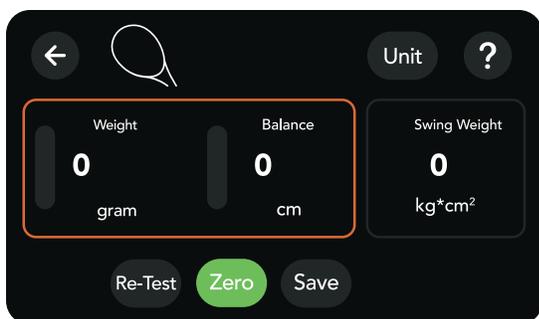
1. フープおよびハンドルローディング固定具を正しい位置にセットします。



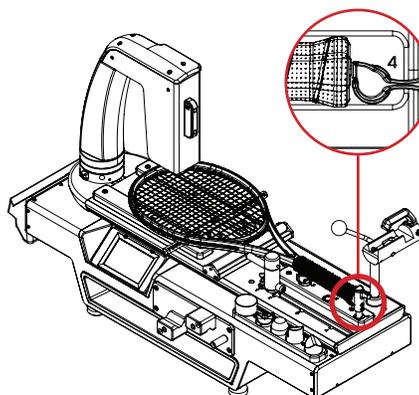
2. アライメントカムを正しい位置にセットします。



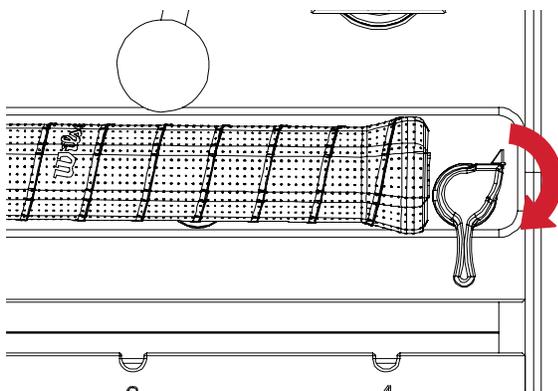
3. Weight (重量) アイコンをタッチして、スケールをゼロにします。



4. ラケットのバットキャップがアライメントカムの平坦面に接するように置きます。



5. 平坦面がバットキャップに接しなくなるようにアライメントカムを回転させます。

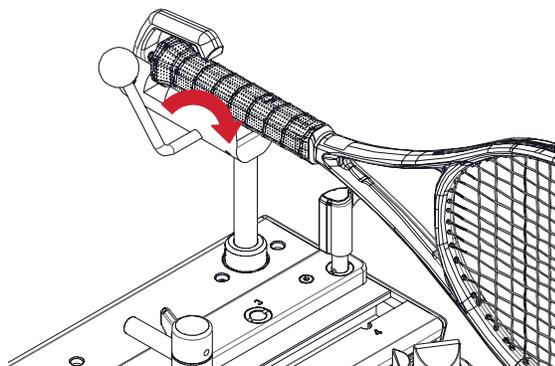


6. 重量とバランスが測定されると、ピーブ音が鳴ります。

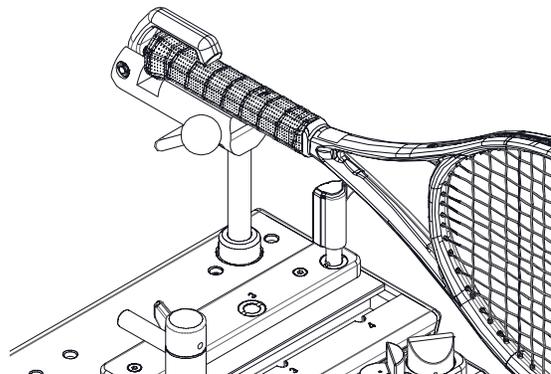
注意：測定が正しく行われていない場合、アライメントカムがバットキャップに接していないことを確認してください。

スイングウェイトテスト

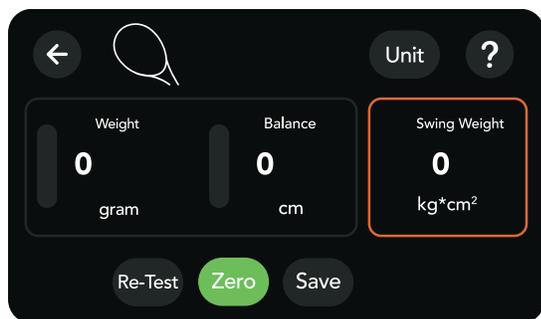
1. ラケットのハンドルをスイングウェイトクランプにセットします。



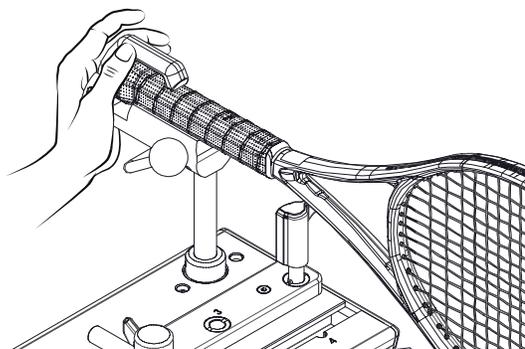
2. スイングウェイトノブを下方に回転させ、ラケットを所定の位置に固定します。



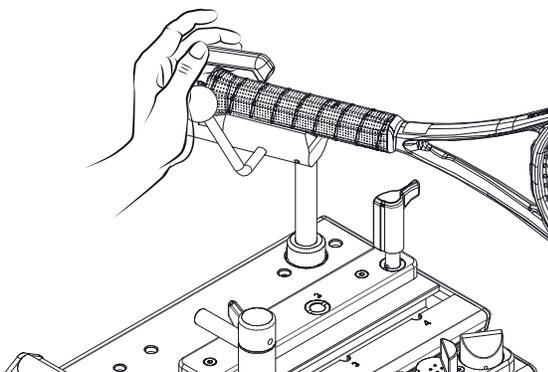
3. Swing Weight (スイングウェイト) アイコンをタッチして、スケールをゼロにします。



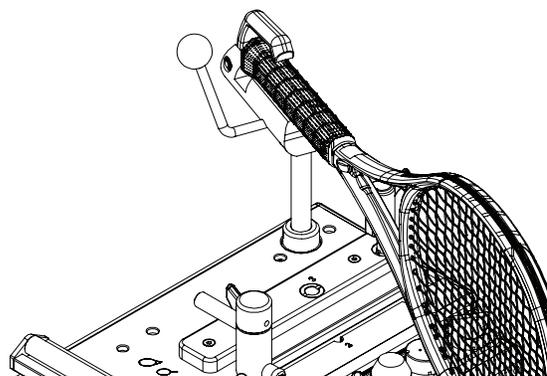
4. スイングウェイトクランプの後部をつかみ、左方向に回転させます。



5. ビープ音が鳴ったら、クランプを離し、自由にスイングさせます。



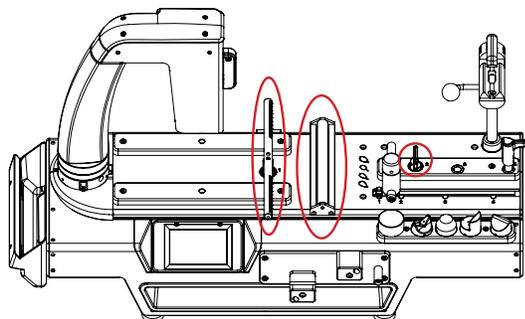
6. スイングウェイトが測定されると、再度ビープ音が鳴ります。



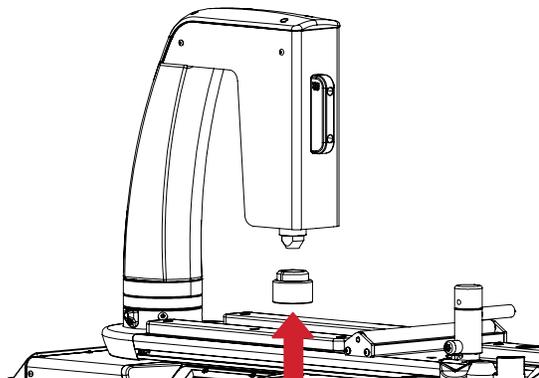
7. テストが完了したら、確認のためにステップ4～5を繰り返して再テストします。

ストリングベッドの剛性

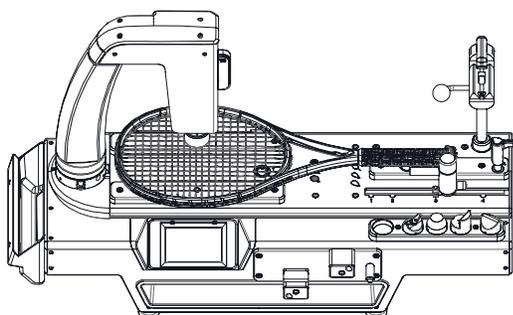
1. フープローディングおよびハンドルローディング固定具、支持バーを取り外します。



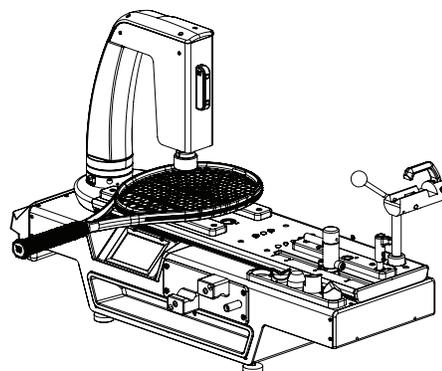
2. ストリングベッドの剛性測定用チップを取り付けます。



3. ラケットのストリングベッドがチップ下の中心にくるように置きます。



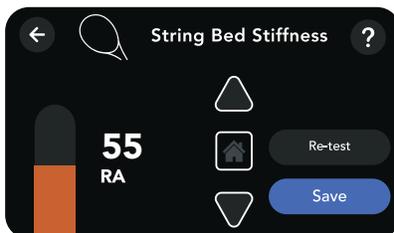
あるいは



4. “START (開始)” を押し、テストを開始します。

5. テストが完了すると、ピープ音が鳴ります。確認のために、“RE-TEST (再テスト)” をタッチして再度テストを実行します。完了したら、“SAVE (保存)” をタッチしてテストの設定画面に戻ります。

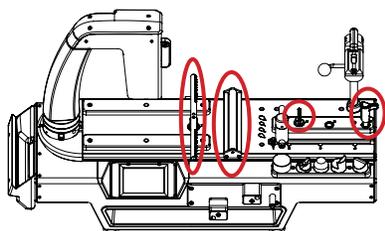
警告：“STOP (停止)” または画面上の任意の場所をタッチして、直ちにテストを中止します。



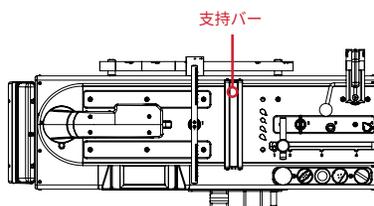
注意：チップの位置が高すぎる場合は、矢印を使用してチップの開始高さを調整してください。

横方向の曲がりテスト

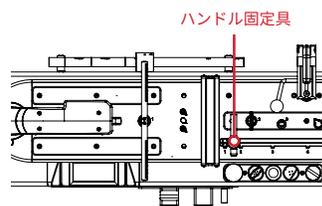
1. フープおよびハンドルローディング固定具を取り外します。



2. テストするスポーツに応じて、支持バーを正しい位置にセットします。

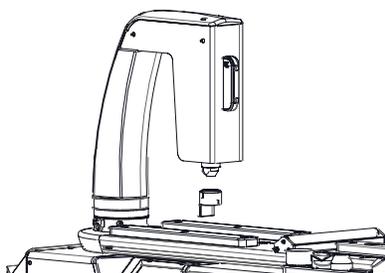


3. テストするスポーツに応じて、ハンドル固定具を正しい位置にスライドさせます。必要に応じて、ヘルプボタンを押して参照してください。

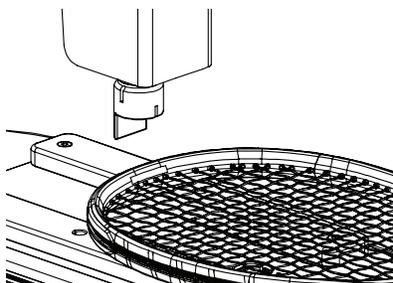


位置 1:ピクセルボール、位置 2:パデル、プラットフォームテニス、位置 3:ラケットボール、位置 4:テニス、スカッシュ

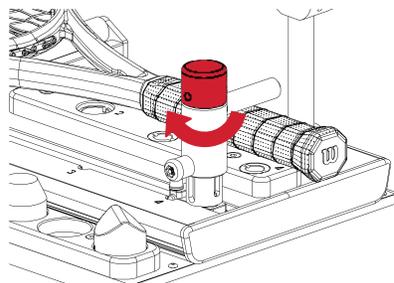
4. 横方向の曲がり測定用チップを取り付けます。



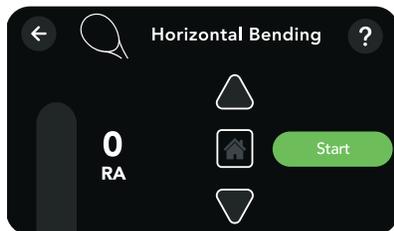
5. ラケットの 12 時の位置がチップ下の中心にくるように置きます。



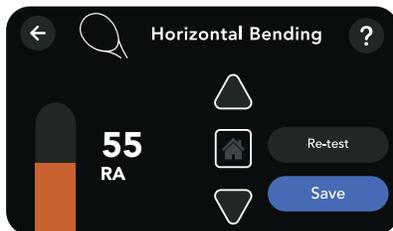
6. ハンドル固定具がラケットハンドルに接し、ラケットハンドルが水平になるまで、ハンドル固定具の上端部分を時計回りにねじって締め付けます。



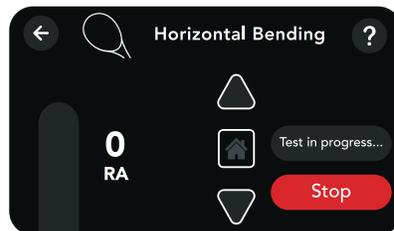
7. “START (開始)” を押し、テストを開始します。



8. テストが完了すると、ピープ音が鳴ります。確認のために、“RE-TEST (再テスト)” をタッチして再度テストを実行します。完了したら、“SAVE (保存)” をタッチしてテストの設定画面に戻ります。



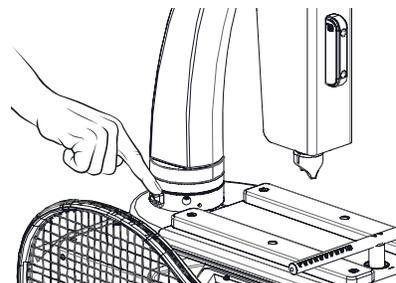
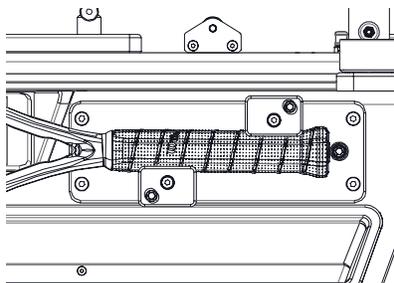
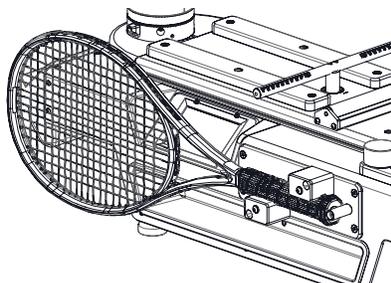
警告: “STOP (停止)” または画面上の任意の場所をタッチして、直ちにテストを中止します。



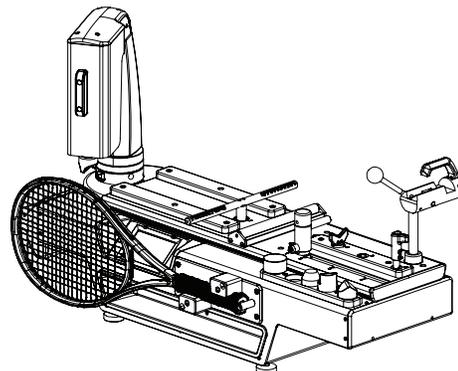
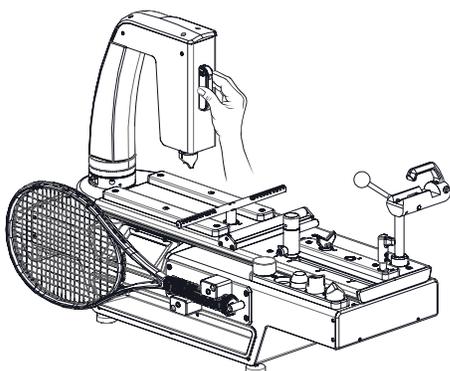
注意：チップの位置が高すぎる場合は、矢印を使用してチップの開始高さを調整してください。

縦方向の曲がりテスト

1. ラケットのハンドルを縦方向の曲がり測定用固定具にセットします。
2. ラケットのバットキャップがアライメントピンに接していることを確認します。
3. 赤色のアクチュエータロックと長押しします。

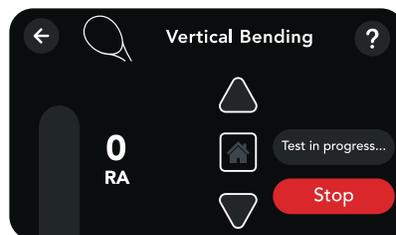
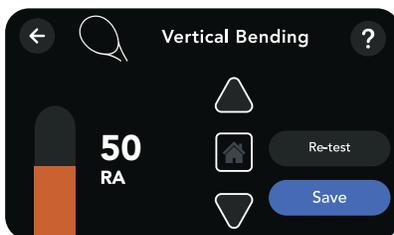
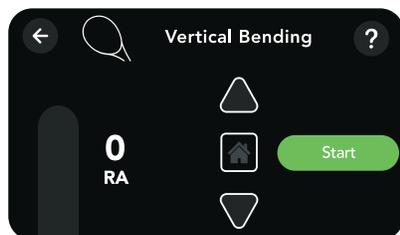


4. アクチュエータヘッドハンドルをつかみ、ロックされる（カチッと音がする）までヘッドを回転させます。
5. 縦方向の曲がり測定用チップを取り付けます。



6. “START（開始）” を押し、テストを開始します。
7. テストが完了すると、ピープ音が鳴ります。確認のために、“RE-TEST（再テスト）” をタッチして再度テストを実行します。完了したら、“SAVE（保存）” をタッチしてテストの設定画面に戻ります。

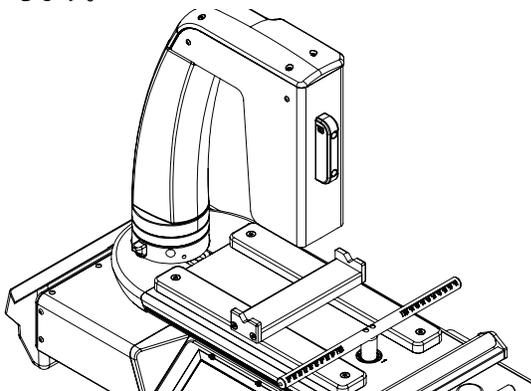
警告：“STOP（停止）” または画面上の任意の場所をタッチして、直ちにテストを中止します。



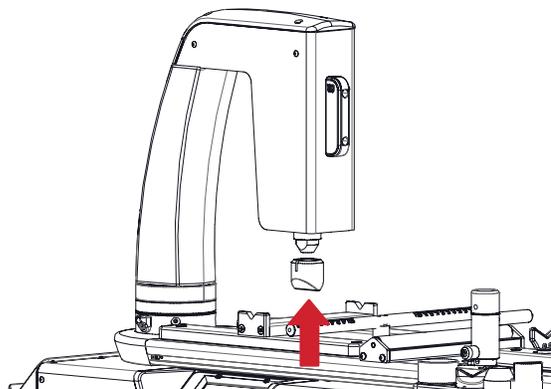
注意：チップの位置が高すぎる場合は、矢印を使用してチップの開始高さを調整してください。

バドミントンシャフトの曲がりテスト

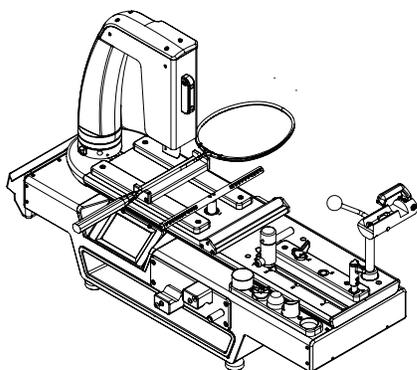
1. バドミントンシャフトの曲がり測定用固定具を、アクチュエータヘッド下の適切な位置にセットします。



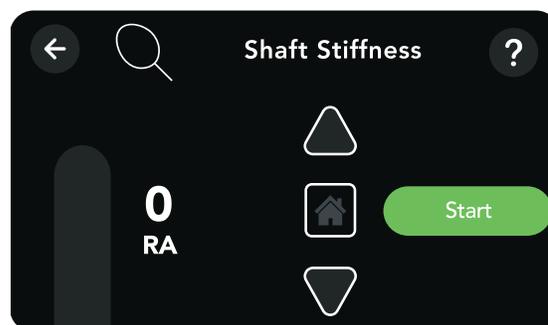
2. シャフトの曲がり測定用チップを取り付けます。



3. ラケットのシャフトがアクチュエータチップ下の中心にくるようにセットします。

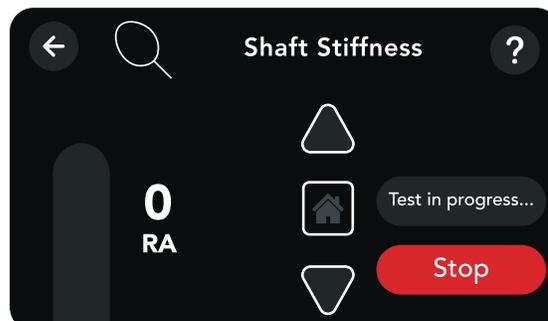
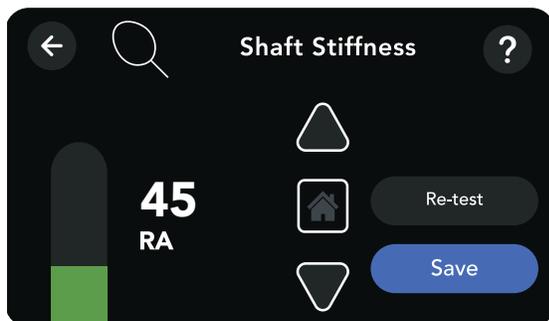


4. “START (開始)” を押し、テストを開始します。



5. テストが完了すると、ピーブ音が鳴ります。確認のために、“RE-TEST (再テスト)” をタッチして再度テストを実行します。完了したら、“SAVE (保存)” をタッチしてテストの設定画面に戻ります。

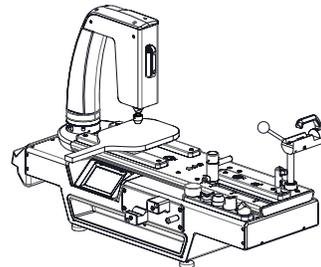
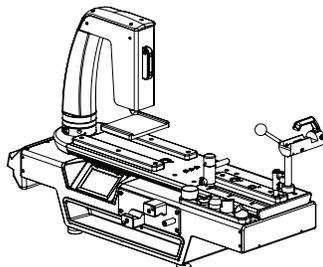
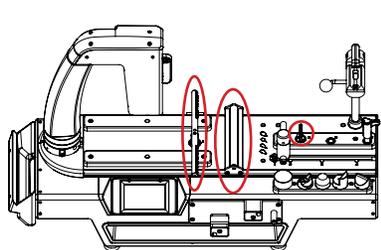
警告: “STOP (停止)” または画面上の任意の場所をタッチして、直ちにテストを中止します。



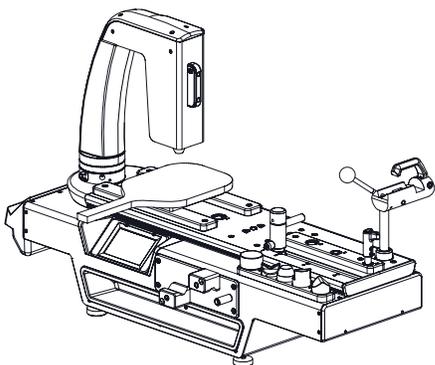
注意: チップの位置が高すぎる場合は、矢印を使用してチップの開始高さを調整してください。

ピッケルボールフェースのたわみ

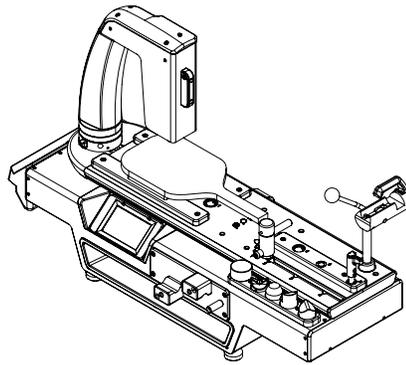
1. フープローディングおよびハンドロードローディング固定具、支持バーを取り外します。
2. ピッケルボールフェースのたわみ測定用固定具を、アクチュエータヘッド下の適切な位置にセットします。
3. ピッケルボールフェースのたわみ測定用チップを取り付けます。



4. パドルのフェースがアクチュエータチップ下の中心にくるようにセットします。

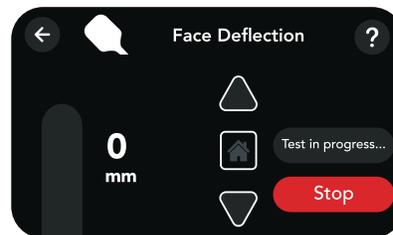
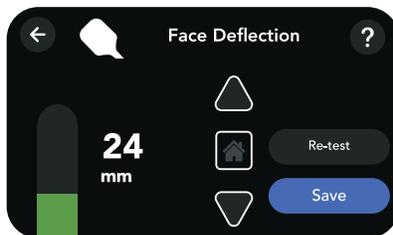


あるいは



5. “START (開始)” を押し、テストを開始します。
6. テストが完了すると、ピープ音が鳴ります。確認のために、“RE-TEST (再テスト)” をタッチして再度テストを実行します。完了したら、“SAVE (保存)” をタッチしてテストの設定画面に戻ります。

警告: “STOP (停止)” または画面上の任意の場所をタッチして、直ちにテストを中止します。



注意: チップの位置が高すぎる場合は、矢印を使用してチップの開始高さを調整してください。

テストの解釈

テスト完了後、テスト結果はすぐに表示されます。

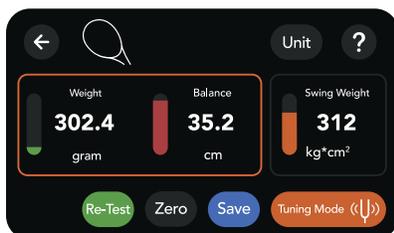
結果バーは、緑、オレンジ、赤のいずれかで表示されます。

緑 = 範囲の下限

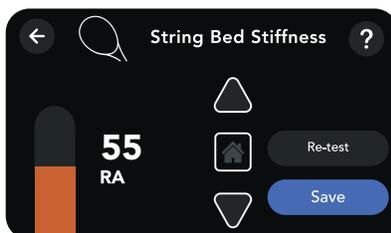
オレンジ = 範囲の中間

赤 = 範囲の上限

“SAVE (保存)” ボタンをタッチすると、結果が概要画面に表示されます。



単一テストの概要画面の例



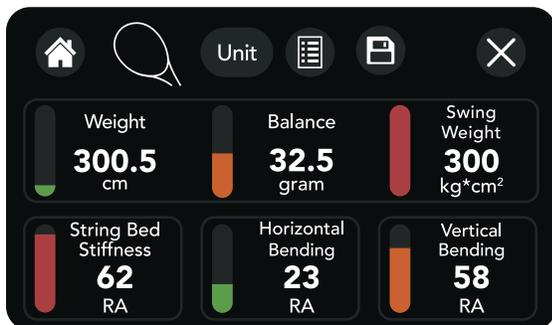
テストの概要画面の例

テストの保存

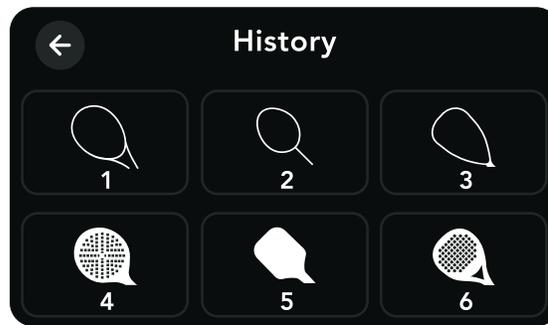
テストを保存すると、2つの場所に格納されます。

1. テストの概要画面に一時格納されます。
2. テスト履歴にも格納され、後で閲覧することができます。

注意：履歴に格納されるのは、最大6つのデータセットまでです。6つのデータが格納されると、最も古いデータが消去されます。



単一テストの概要画面の例



テスト履歴画面の例

チューニングモード

チューニングモードとは？

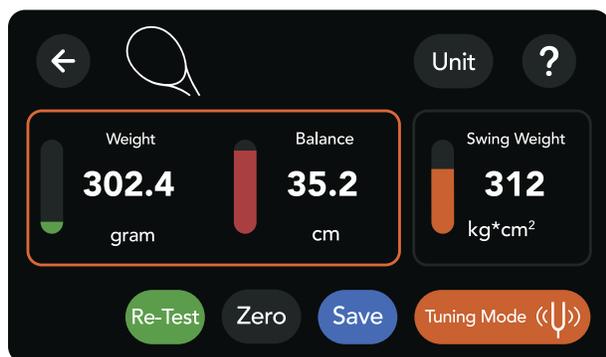
チューニングモードは、ラケットの仕様を簡単に変更できるように設計されたリアルタイムのカスタマイズガイドです。チューニングモードでは、重量、バランス、スイングウェイトを測定するだけで、希望するラケットの仕様を満たすために、加えるべき重量や位置について知ることができます。

チューニングモードの設定

Tuning Mode (チューニングモード) のアイコンは、重量、バランス、スイングウェイトが測定されるまでは表示されません。

これらの仕様が測定されると、Tuning Mode (チューニングモード) のアイコンがオレンジ色に変わります。

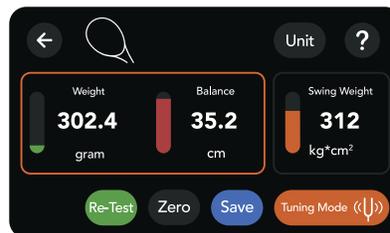
Tuning Mode (チューニングモード) のアイコンをタッチして、プログラムを開始します。



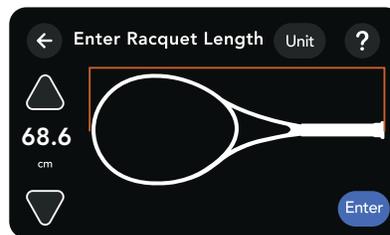
チューニングモードが表示されている画面の例

ライブチューニングモードの使用

1. 重量、バランス、スイングウェイトの画面からチューニングモードの入力を開始します。

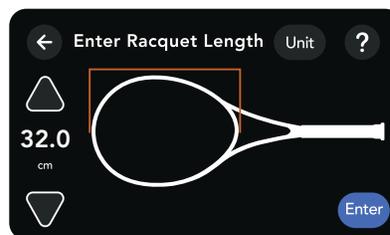


2. ハンドル先端からのラケットの長さを入力します。

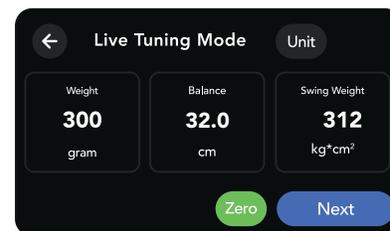


3. フープの外縁からヨークの外縁までの長さを入力します。

4. ラケットを装置にセットし、重量とバランスを測定します。

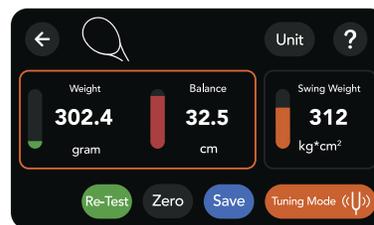


5. 装置で自動的にスイングウェイトが計算されます。
6. ここでラケットの任意の場所に重さを加えると、リアルタイムで数値が調整されます。
7. 戻る矢印をタッチして、重量 / バランス / スイングウェイトの測定画面に戻ります。

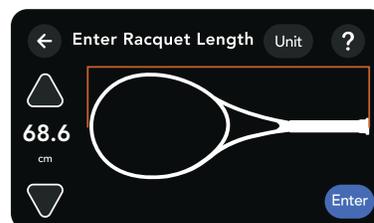


計算モードの使用

1. 重量、バランス、スイングウェイトの画面からチューニングモードの入力を開始します。

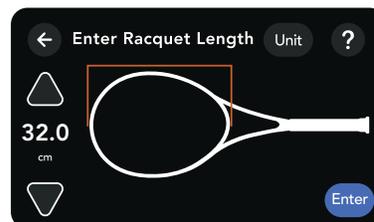


2. ハンドル先端からのラケットの長さを入力します。



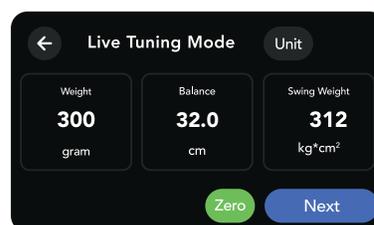
3. フープの外縁からヨークの外縁までの長さを入力します。

4. ラケットを装置にセットし、重量とバランスを測定します。



5. 装置で自動的にスイングウェイトが計算されます。

6. “NEXT (次へ)” をタッチして、計算モードの入力を開始します。



7. 重量、バランス、スイングウェイトの3つのうち、希望する仕様を2つ入力し、“CALCULATE (計算)” を押します。

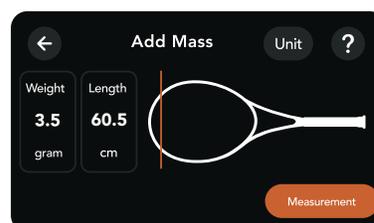
8. 計算された仕様が許容できる場合は、“ENTER (エンター)” をタッチします。

注意：すべての計算は質量に基づくため、希望する仕様の組み合わせが計算されない場合もあります。



9. 最後の画面で、希望するラケットの仕様を達成するために質量を加えるべき位置を表示します。

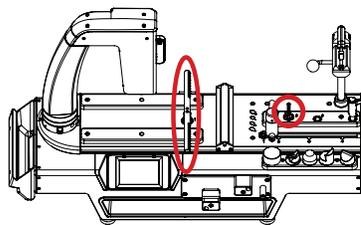
10. “FINISH (完了)” をタッチして、重量、バランス、スイングウェイト装置に戻ります。



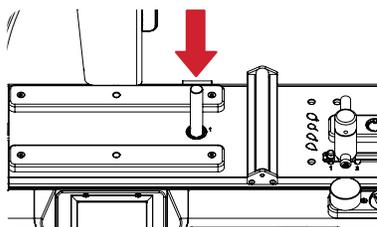
調整

重量とバランス

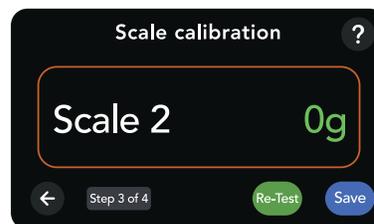
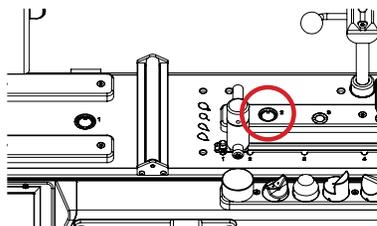
1. “Setting（設定）”メニューから、ロードセル調整スケールの入力を開始します。
2. ハンドルおよびフープロードセルを取り外します。
3. スケール1を重量なしで測定します。“SAVE（保存）”をタッチします。



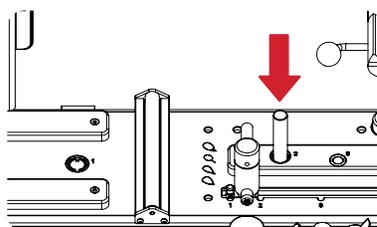
4. **300 グラム**のバーが挿入されたスケール1を測定します。“SAVE（保存）”をタッチします。



5. スケール2を重量なしで測定します。“SAVE（保存）”をタッチします。



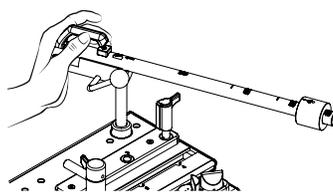
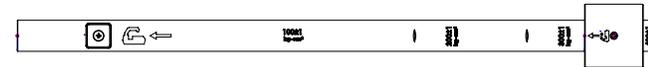
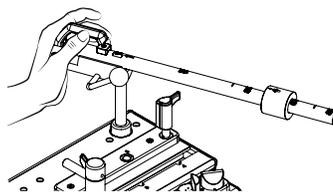
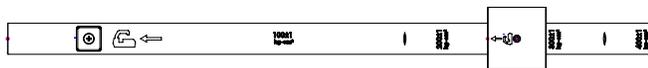
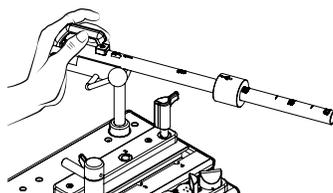
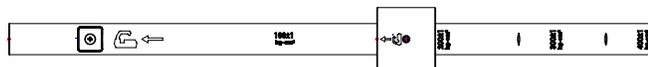
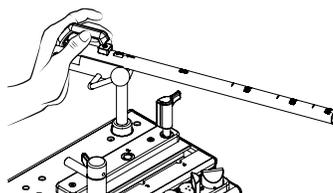
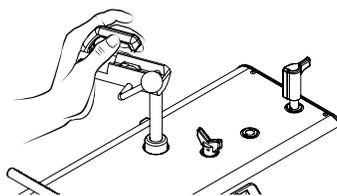
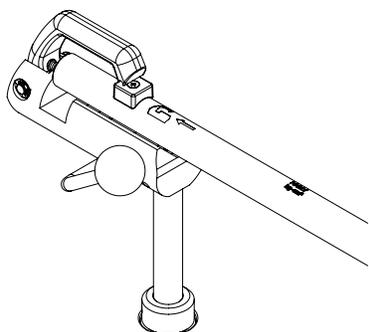
6. **300 グラム**のバーが挿入されたスケール2を測定します。“SAVE（保存）”をタッチします。
7. 重量およびバランスロードセルが調整されました。



調整：スイングウェイト

1. スイングウェイトクランプのバブルが水平になっていることを確認します。
2. “Setting (設定)” メニューから、スイングウェイト調整の入力を開始します。
3. 無負荷の状態、スイングウェイトクランプを後方からアクチュエータヘッドの方向に回転させます。
4. ビープ音が鳴ったら、クランプを解除して自由にスイングさせます。
5. “ENTER (エンター)” をタッチします。
6. 100 kg*cm²、200 kg*cm²、300 kg*cm²、400 kg*cm² の負荷について、上記のステップを繰り返します。

注意：図で示すように、スイングウェイト調整バーをクランプに挿入します。

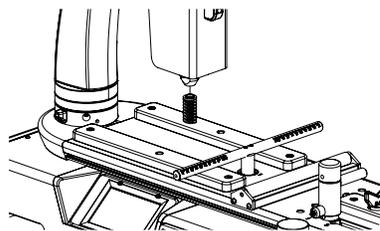


異なる単位にスイングウェイトを調整

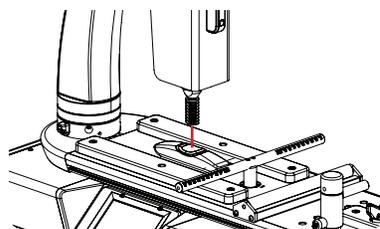
1. 他のデバイスで測定された調整バーのスイングウェイトを、100 kg*cm² で記録します。
2. 本装置にバーをセットし、回転させてから離します。
3. 矢印キーを使用して、他のデバイスで記録された対応する数値に合わせます。
4. 200 kg*cm²、300 kg*cm²、400 kg*cm² の負荷について、上記のステップを繰り返します。

調整：RA

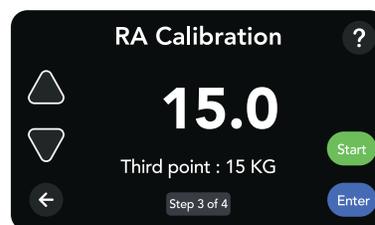
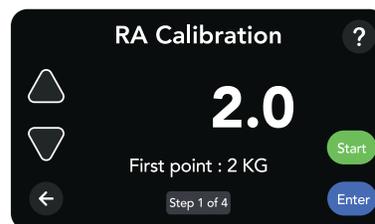
1. “Setting（設定）”メニューから、RA調整の入力を開始します。
2. フレーム剛性調整用スプリングを取り付けます。



3. スケールをスプリング下の中心に合わせます。



4. “START（開始）”をタッチします。
5. タッチスクリーンにスケールから記録された力を入力します。
6. “ENTER（エンター）”をタッチして、装置に保存します。
7. スケールをゼロにします。
8. 5 kg、15 kg、20 kg の負荷について、ステップを繰り返します。



保守、メンテナンス、トラブルシューティング

保守、メンテナンス、またはトラブルシューティングについては、www.wilson.com/baiardo にアクセスして最新情報をご確認ください。その他の技術や保守に関するご要望については、地域のサービス担当者までお問い合わせください。

輸送後は必ず装置を水平に置き、再調整してください

屋外や極端な温度下で装置を使用しないでください

ロードセルに寄りかからないでください

テストを緊急停止するには、テスト中にタッチスクリーン上の任意の場所をタッチしてください

必ずスケールをゼロにしてから新しいテストを実施してください

保証情報

保証範囲

Wilson Sporting Goods Co. (「Wilson」) は、Baiardo Tune Pro 装置を購入した最初の購入者に対して、アクチュエータモーターについては最初の購入日から3年間、他のすべての部品については最初の購入日から1年間の資材および製造上の不良がないことを保証します (「保証期間」)。保証期間内に通常の使用において本保証で対象とされる不良が発生した場合、Wilson の選択において、部品の交換、不良機器の修理または交換を実施します。部品の不良が発生し、保証期間内に正当な苦情を受けた場合、Wilson の選択において、元の部品と少なくとも機能的に同等である新品、中古品、再生品のいずれかと交換します。交換部品は、最初の購入時の残りの保証期間または交換日から90日間のいずれかより、長い方の対象期間で提供することを想定しています。本保証は、過失、不正使用、誤用、許可されない代替使用、腐食環境、湿気、外部からの高電圧サージ、輸送、取り扱い、または通常の使用による部品の摩損によって生じた損傷や不良には適用されません。交換または再製造のプロセスにおいて取り外された部品や基板については、Wilson の所有物となるものとします。本保証は、最初のエンドユーザーである購入者にのみ適用され、他の当事者への譲渡や移転をすることはできません。

定期的なメンテナンス、調整、およびクリーニングは適切な操作を確保するために必要であり、それらは購入者が責任を負い、本保証の条件下において対象となりません。

本保証に基づく Wilson の義務は、交換部品の修理や不良機器の交換に限定されるものであり、その他の法的責任や保証を負うことは認められません。Wilson は、本装置の故障、明示的または黙示的な保証の違反による損害について、法律で認められる最大限の範囲において、他の装置への損害、利益の損失、または間接的、付随的、懲罰的な損害を含むがこれに限定されず、購入者またはその他の当事者に対して一切責任を負うことはありません。Wilson は、本装置に関して現在提案されている小売価格を超える金額について、いかなる場合においても一切責任を負うことはありません。本保証は、本装置に関するすべての保証を表します。本保証は、商品性および特定の目的についての適切性に関する黙示の保証を含むがこれに限定されず、明示的または黙示的に、他のすべての保証に代わるものとして付与します。本保証は、保証期間に限定されます。保証期間後は、明示的または黙示的にかかわらず、いかなる保証も適用されません。本保証は、購入者に特定の法的権利を付与するものですが、購入者は現地法に基づいて異なるその他の権利を有する場合もあるため、購入者に追加の利益を提供する場合があります。一部の司法管轄区域では、黙示的保証の継続期間に関する制限が認められていないため、上記の制限が購入者に適用されない場合があります。

保証サービスと部品の入手

保証サービスを受ける前に、本取扱説明書を確認するか、www.wilson.com/baiardo に掲載されているオンラインヘルプリソースの文書を参照してください。これらのリソースを使用しても部品が適切に機能しない場合、部品や機器の交換については、地域のサービス担当者までお問い合わせください。その他の連絡先情報については、お問い合わせ先セクション www.wilson.com/baiardo よりご確認ください。Wilson カスタマーサービスまたは Wilson 認定サービスセンターのみが、部品や機器が本保証の対象であるかどうかを決定し、保証の対象である場合には保証サービス提供の支援をします。Wilson は、交換のために装置を発送および返送する代わりに、修理を実施するために第三者を利用する権利を有します。

保証サービスは、法律で認められる保証期間中に、サービスについて提出または提示された部品に適用されます。適用する法律に基づいて、保証サービスを受ける前に、購入証明の詳細を提出する必要があります (注意: ebay、uBid、Overstock などのオークションサイトによる購入証明は、そのようなオークションサイトから購入した機器に対し本保証が適用されないため、受け入れられません)。保証サービスは、購入した国に限定する場合があります。サービスのオプション、部品の入手可能性、および応答時間は国によって異なり、部品のある国でサービスを行うことができない場合、購入者は送料や取扱手数料を負担する場合があります。Wilson は、事前通知をすることなく本保証を変更する権利を有します。

本製品は、以下の規定に準拠しています。

Safety of Household and Similar Electrical Appliances (家庭用及びこれに類する電気機器の安全性)

IEC 60335-1:2010、COR1:2010、COR2:2011、AMD1:2013、COR1:2014、AMD2:2016、COR1:2016。

EN 60335 1:2012 + A11:2014 + A13:2017 + A1:2019 + A14:2019 + A2:2019 + A15:2021。

EN 62233:2008

UL 73:2011 Ed.10+R:10Sep2021

CSA C22.2#68:2018 Ed.8+U1

BAIARDO TUNE PRO の仕様

組立重量 (N.W.) : 40.94 kg

組立寸法 : 1009.83 mm x 439.37 mm x 657.59 mm

電源 : 外部スイッチング、100 ~ 240 ボルト (65 ワット)

箱のサイズ : 118 cm x 53.5 cm x 50 cm

箱の重量 (G.W.) : 47.84 kg

主要材料 : アルミニウム

付属のテストツール : すべてのテスト用チップ、フープおよびハンドルローディング固定具、支持バー、アライメントカム、バドミントンシャフトの曲がり測定用固定具、ピククルボールフェースのたわみ測定用固定具、フレーム剛性調整用スプリング、スイングウェイト調整用ロッド、重量およびバランス調整用ロッド、アクチュエータ調整装置

付属の組立工具 : 必要な六角レンチすべて



RoHS
Compliant



24VDC、0.81A、IP24

詳細情報については、www.wilson.com/baiardo にアクセスしてください